

# 平成29年美濃加茂市教育委員会 4月定例会 会議録

## 1 開会日時及び場所

平成29年4月17日（月）午後1時30分から午後4時10分まで  
美濃加茂市役所分庁舎4階 第1会議室

## 2 出席者

（教育委員）

教育長 日比野 安平  
委員 矢島 良子  
委員 安江 ちか子  
委員 鹿野 久美子  
委員 高野 光泰  
委員 渡邊 博栄

（事務局）

事務局長 可児 靖教  
学校教育課長 古川 一男  
教育センター次長 山内 章  
教育総務課課長補佐 長谷川 壮重

## 3 開会 午後1時30分

## 4 議事日程等

（1）教育長あいさつ

（2）会議録署名委員の指名

（3）11月定例会議の会議録の承認について

（4）議題

議第1号 平成29年度美濃加茂市の教育について

議第2号 平成29年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の設置について

（5）協議・報告事項

- ① 平成29年度の児童・生徒数について
- ② 中学生の進路先について
- ③ 学校給食費について
- ④ 教育委員会行事予定等
- ⑤ 教育センター事業報告

（6）その他

# 会 議 録

## (1) 教育長あいさつ

日比野教育長

※教育長から開会のあいさつ

- ・新学期になってから6回ほど校長先生方とお会いし、良い教育環境を作り持続させたいという思いをお伝えした。
- ・平成28年度中、1年間で100人以上児童・生徒が増加した半面、児童が減っている学校もある。
- ・伊深小学校と三和小学校で小規模特認校制度がスタートした。それぞれ1人ずつ就学したが、元気に通学している。
- ・明日(4/18)は全国学力テストが行われる。学力をつけてもらいたい、昨年度の全国学力テストでの課題が解消されていることも願いたい。
- ・小学校で教科としての英語が開始される。英語を身につけさせるためには本当に知恵を結集して将来展望を持って取り組まなければならない。
- ・部活動の無い日など、先生方が早く帰宅できる日を作りたい。他の先生(特に先輩)が残っているからとってお付き合いで残ることはいけない。
- ・児童・生徒の転出入の理由について分析した。離婚やDVなど望まざる理由も含め、様々な理由で子どもたちが転出入している。子どもだけの問題ではない。家庭や大人の問題があるのも事実。

## (2) 会議録署名委員の指名について

日比野教育長

それでは、レジュメに従って会議を進めてまいります。  
まず初めに会議録署名委員の指名についてです。私から、安江委員にお願いしたいと思います。

安江委員

承知しました。

## (3) 11月定例会議の会議録の承認について

日比野教育長

次に、11月定例会の会議録の承認についてです。ご意見やご質問は何かございますか。

矢島委員	※ローマ字学習に関する表現について指摘あり。
日比野教育長	正しく真意が伝わるようにもう少し詳しく記載するなどして修正してください。 その他はよろしいでしょうか。 それでは、ご指摘の箇所について修正していただき承認とします。

#### (4) 議題

##### 議第1号 平成29年度美濃加茂市の教育について

日比野教育長	本日は議題が2つあります。 まず議第1号、平成29年度美濃加茂市の教育について、事務局から説明をお願いします。
可児事務局長	※資料を基に、美濃加茂市の経営理念、経営方針及び重点課題（10項目）について説明。 ※教育委員会及び教育に関わる市長部局関係部署の組織について説明。 ※教育委員会の附属機関、市の教育に関する予算の概要について説明。
古川学校教育課長	※資料を基に、平成29年度美濃加茂市学校教育の方針と重点について説明。
可児事務局長	※教育総務課の活動方針、重点施策、予算概要、事務分掌等について説明。 ・学校トイレ改修整備事業（トイレの洋式化） ・山手小学校増築工事完成（10月） ・小規模特認校制度導入（伊深小学校、三和小学校） ・西中学校、東中学校通学区域の見直し ・のぞみ教室新築事業 ・放課後子ども総合プランの策定 ・給食費等未納対策 ・就学援助費の入学前支給について検討 ・学校給食センターにおける衛生管理の徹底 ・安心安全で美味しい給食の提供 ・食育関連事業
日比野教育長	教育総務課から説明がありました。ここで質問がありましたらお願いします。
安江委員	先ほど放課後子ども総合プランの話がありましたが、放課後児童クラブと放課後子ども教室の違いについて説明をお願いします。

可児事務局長	<p>放課後児童クラブは、保護者が仕事等で放課後の時間帯に家に居ない児童を対象として、現在行っております。</p> <p>放課後子ども教室は、美濃加茂市では行っていませんが、全ての児童のうち希望者だけを対象とし、放課後に、住民等に協力をしてもらいながらいろいろな学習プログラムを提供するものです。</p>
安江委員	<p>放課後子ども教室というのは、児童を預かるのではないのですね。</p>
可児事務局長	<p>今までですと、例えば下校時間の午後3時になると児童は下校するわけですが、放課後子ども教室では、日にちを決めて、この日に図書室で読み聞かせをすとか、地域の方々が伝統文化を教えてくれるなど、いろいろなメニューを用意して、家に親が居る居ないに関係なく興味のある児童が参加するという形となります。</p>
安江委員	<p>時間帯は何時頃からになりますか。</p>
可児事務局長	<p>放課後ですので学年によって異なりますが、例えば1、2年生ですと午後2時頃からというときもあります。終了時刻は6年生の下校時間の午後4時何分までとしたり、6年生も対象のものでは6年生の終業時刻の1時間後までという場合も考えられます。</p>
安江委員	<p>難しいですね。放課後児童クラブでさえ待機児童がこれだけいるのに空き教室も無い現状ですから。</p>
可児事務局長	<p>今空き教室が全く無いという状況の中で放課後児童クラブをどうしていくのかという問題があることに加えて、放課後に何か勉強以外の事をやっていきたいという、土曜日の「学習ひろば」の平日版というイメージで、学校の先生方に負担をかけずに有志ボランティアやコーディネーターを市が雇って行うという形になると思います。それを美濃加茂市としてどのようにやっていくのか考えないといけませんので、来年度以降に実施するという計画を策定することになります。</p>
日比野教育長	<p>確認となりますが、放課後児童クラブは厚生労働省の事業で、就労支援の側面があります。親が仕事をしている昼間に子どもの面倒を見るところ。一方の放課後子ども教室は文部科学省の事業で、空き教室がたくさんあるところなどは実施できますが、当市の場合は開催場所の確保に困っています。放課後児童クラブだけでも場所が確保できない。そうすると学校の図書室などを活用して、地域で手助けしていただける方々がいらっしやれば不可能ではないとは思っています。</p>

安江委員

あくまでも小学校の児童が対象であると。放課後児童クラブは対象学年を上げたのですが、空き教室が無いということで待機児童が発生しています。全児童のうち希望者を対象とした子ども教室となると難しいと思います。

日比野教育長

ご承知のように、美濃加茂市では児童の数が増えています。「カミーノ（美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」では、毎年の出生数の目標を500人としています。これで計算しますと、小学校1年生から中学校3年生まで9学年合計で4,500人となります。現在は5,300人です。美濃加茂市では1年間に100人くらい児童生徒が増えています。出生数が毎年500人で推移し、転入者が無ければ、教室の数のことについて心配をしなくても良いのですが、現実には増えています。

可児事務局長

市では今年度から学校の維持管理について10年スパンの長期計画を提案していかなければならないのですが、現在市内にいる0歳からの子どもの数は把握できるのですが、市全体で目標出生数500人だけではなく、どの地区に何人の子どもが暮らすという計画目標が示されないと、各学校の規模が足りないのか余るのか、増築が必要なのか不要なのか判断できないのです。

日比野教育長

加茂野町を例に考えてみても、人口が減るようには思えません。9年ほど前は将来減っていくという見通しでしたが、現実には全く減っていない。民間による突然の宅地開発や企業の出入りなど不確定要素があるために先が読めない。昨年度1年だけでも100人が増えましたから、山之上小学校が140人ですので、小規模校が1つ分増えたこととなります。そのような現状の中で、「教室がありません。」とは言えませんので対応していかなければならないわけです。今は0歳の乳児でも6年も経てば入学して来ますから、6年の間に予算を付けて校舎を建てるとなると余裕はありません。

こういった現状は県下でも珍しい例です。

安江委員

良い道路が出来て、また家を建てるのに土地が安いというので、これから産まれる人たちだけでなく、ちょうど小学生ぐらいの子どもがいる世帯が家を建てられます。自治会や子ども会へは入らないけれども学校には行くという家庭が加茂野町では増えていると聞きます。本当に短期間に家がたくさん建っていますから。

日比野教育長

増えている地区もあれば、伊深や三和、山之上など子どもが減っている地区もある。市教委としても小規模特認校制度を導入して努めてはおります。

東中学校区と西中学校区の見直しを今年行うわけですがけれども、太田地区の駅北の地域に対する経過措置をどうしていくか。要するに山手小学校区になっている地域の児童のうち、わずかですがけれども、西中学校へ行くようにするのかどうか。

教育委員さんにも考えていただきたいのですが、現在の通学区域を定めた時のことを承知しているのは私と安江委員さんだけになりましたが、西中学校まで2～300メートルほどの距離の家から4キロメートル以上も離れた東中学校へ自転車で通っている生徒がいます。5年前の経緯というのがあります、経過措置を設けたわけですが、生徒たちにしてみれば新しい仲間がすぐに出来ますので、心配はないのですが、やはり交通事故は通学距離や時間に比例すると思いますので、近くの西中学校を希望されるかと思いましたが、実際は東中学校を選ばれた。

今、東中学校の生徒数が増えてきていて解決策を考えなければなりません。東中学校は岐阜県下で5番目に大きな学校となりました。

西中学校と双葉中学校との生徒の数については、双葉中学校にはまだ余裕があるようですからもう暫くは大丈夫のようです。双葉中学校区から西中学校へも経過措置がありますので、これは来年度見直す予定です。

安江委員

昨年度は交通事故が多い年で、また不審者の情報もあります。早いうちに教育委員会に決めてもらいたいと思っている親さんはいらっしゃいます。実際、前回の校区変更の時には西中学校への通学を考えていたご家庭が、友達が皆東中学校へ行くということで、わざわざ住所を移された方もみえたそうです。決まっていれば、判断しやすいかと思えます。

日比野教育長

今安江委員がおっしゃったそのとおりなのです。教育委員会で決めて欲しいと言われる方もいれば、自分たちで決めることだとおっしゃられる方もみえた。西中学校と東中学校の校区の境目に当たる地域は常に存在していて、ある時は西中学校、またある時は東中学校と言われて大変申し訳ないことになるのです。

5年前の校区変更の時は、平日も土日も説明会を何回も開催して説明しました。

できる限り説明を繰り返して納得していただきたいと思うのです。今年度は見直しの年であるにご理解いただきたい。

古川学校教育課長

それでは、学校教育課の主な事業につきまして説明をさせていただきます。

※資料を基に重点と施策について説明。

- ・フロム0歳プランの推進
- ・英語教育の推進
- ・支援員、相談員、ふれあい安全サポーターの配置の推進

- ・情報教育の推進
- ・性に関する指導資料の改訂
- ・国や県からの主な指定事業

日比野教育長

では、学校教育課の今までの内容についてご質問はありませんか。

矢島委員

学校図書館フォーラムは日にちは決まっていますか。

古川学校教育課長

7月24日(月)を予定しております。夏休みに入ってすぐの月曜日ですが、東図書館2階の会議室を予定しています。

日比野教育長

各学校に電子黒板とタブレットをセットにして2か年で整備していく予定にしています。教育効果を上げてもらいたいので、壊れるぐらい使ってもらえることを期待しています。

もう1つは、「わたしたちのまち美濃加茂」という本を改訂しました。坪内逍遙先生や津田左右吉博士が載っています。そして今回の改訂で、理科系の人をということで、ハーバード大学名誉教授で文化功労者となっている岸義人氏を加えました。

安江委員

電子黒板とタブレットですが、2か年計画になっていますが、各学年にということだと、今年は6校に整備するということですね。

古川学校教育課長

電子黒板1台とタブレット1台をセットとして、2か年計画で各学年に1セットずつ入れるということです。

安江委員

タブレットを導入した時に、5年計画で導入したので、使わないうちに卒業してしまうというような学校もありましたが、電子黒板とタブレットが整備されない学校の児童たちは利用できずということになるのでしょうか。

古川学校教育課長

各学年に1台ずつと考えておりますが、2か年計画としておりまして、今年は2・4・6年の各学年に1セットずつ設置をしていく。全学校で設置をいたします。

安江委員

タブレットの時は学校ごとに順番に整備していきました。同じようにされるかなと思いましたが、半分ずつでも全学校に整備していただけるのであればよろしいです。

日比野教育長

ICT技術は日進月歩で技術開発があつという間に進みますから2～3年も経てばまた新しく開発された技術に対応しないといけなくなるかもしれません。

	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、教育センターの事業についてお願いします。</p>
山内教育センター次長	<p>※資料を基に重点と施策について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質向上（管理職研修、若手研修、ハイパーQ U研修等）</li> <li>・不登校対策の推進</li> <li>・生徒指導対策の推進</li> <li>・発達の困り感をもつ児童生徒への相談支援の推進</li> </ul>
日比野教育長	<p>只今の教育センターに関する説明について、ご質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>研修については素晴らしい講師の方を選んでおりますので、私も聴講したいくらいです。参加定員が限られておりますので、学校を代表して来ていただかなければならない。ぜひとも研修を活かしていただき、絶対に子どもに役立ててもらいたいと思います。</p> <p>学力状況調査もハイパーQ Uも現場で子どもたちを見ている先生がいかにも子どもたちのことを把握しているかにかかってきます。日々の子どもの姿と学力状況調査などの結果を分析して効果的に活用してもらいたい。</p> <p>不登校が多いというのが美濃加茂市の喫緊の課題です。</p> <p>ご質問のほうはよろしいですか。</p>
可児事務局長	<p>お配りしました「平成29年度『美濃加茂市の教育』資料編（市長部局）」につきましては、フロム0歳プランの元で教育委員会以外の部署とともに一緒になって取り組んでおりますのでご覧いただきたいと思っております。フロム0歳プラン策定当時から市の組織も変わり、事業も変わってきておりますので、各課の事業について0歳から18歳までの大まかな年代ごとにまとめました。各課の取組に関する資料も添付してありますので、委員さん方から詳細についてご希望がありましたら担当課長などに来ていただいて説明してもらっても可能です。</p>
日比野教育長	<p>市としましては「もっと教育」を掲げて市長以下大変力を入れてもらっていますので、他の課もF-0の会合には積極的に関わってもらえるようになってきています。</p> <p>私は人が育てればいろんな手が打てると思います。人づくりをしっかり行う。未来の美濃加茂市を支える人材を育てるということを市民一人ひとりが自分のこととして捉えてもらえると有り難いと思います。</p> <p>それでは、ご質問がなければ、議第1号、平成29年度美濃加茂市の教育については承認といたします。</p>

## 議第2号 平成29年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の設置について

日比野教育長

次に、議第2号、平成29年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の設置について、説明をお願いします。

古川学校教育課長

本年度は、小学校の道徳の教科書の採択の年度でありまして、そのための採択協議会を設置するというございます。

お手元の資料のように規約に基づきまして、可茂地区の採択協議会を設置していきたいと考えております。

ちなみに来年度は中学校の道徳の教科書の採択。その次、31年度が小学校の教科書の採択。平成32年度が中学校の教科書の採択と、本年度より4年続けて教科書の採択が行われます。

日比野教育長

教科書については大きな採択の年が4年に1回ありますが、今回は、来年度から新たに道徳という教科が始まりますので、その採択に関してこの協議会が必要となります。新しい教科が始まるというのはそう多くはありませんが、小学校の道徳と中学校の道徳で採択年度が1年ずれていきますので、連続して採択の協議をしなくてはいけなくなる。採択に当たっては外部に漏れないように秘密で行いますので、大変神経を使います。事務局は大変ですので、小学校の道徳は八百津町に、来年の中学校の道徳は白川町に取りまとめをお願いしました。教科数の多い再来年の小学校とその次の年の中学校の全教科の採択は美濃加茂市と可児市が中心となっていく予定です。

小学校の英語につきましては、他の教科と一緒にいけば良いことになっています。

今年度の道徳の教科書は、協議会で検討された採択案が7月に各市町村の教育委員会へ提示されますので、その時に議決をいただくこととなります。

それではよろしいでしょうか。

では、議第2号につきましては決定をいたしました。

日比野教育長

それでは、次の協議・報告事項に移ります。

まず1つ目の平成29年度の児童・生徒数についてお願いします。

### (5) 協議・報告事項

#### ① 平成29年度の児童・生徒数について

古川学校教育課長

※資料に基づき、平成29年度の児童・生徒数について説明。

・4月7日(始業式・入学式の日)で報告。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生3, 546人、中学生1, 824人、計5, 370人。</li> <li>・昨年度より115人増（小学生41人、中学生74人）。</li> </ul>
日比野教育長	表を見ると、双葉中学校へは美濃加茂市から107人ということですか。
古川学校教育課長	中学生1, 824人と計5, 370人の中に双葉中学校に通う富加町の生徒168人も含まれておりますので、美濃加茂市だけの中学生は1, 656人、小中学校合計は5, 202人となります。
日比野教育長	古井小学校だけで50人増えていますが、このペースで増え続けると大変なことになる。
古川学校教育課長	古井小学校は外国人児童の入りが非常に多く、新1年生132人のところ日本国籍を持っていない外国人が31人。日本国籍を持っている外国人となりますと更に数が増えてくるということで、新1年生の4人に1人は外国人というような状況です。
日比野教育長	子どもを預かっていて国籍などは関係ないと思いますが、多文化共生を活かしていく方法を考えていきたい。

## ② 中学生の進路先について

古川学校教育課長	<p>※配布した資料に基づき、中学生の進路先について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可茂地区からは西濃地区以外は進学が認められている。</li> <li>・西中学校と双葉中学校からは美濃地区へ進学する傾向がある。</li> <li>・定時制課程、通信制課程、私立高校、県外、就職など。</li> <li>・私立中学校からの進学の数字は含まれていない。</li> </ul>
日比野教育長	加茂高校や可児高校が定員割れをしていて、定数の削減がされている。地元の美濃加茂市としては大きな問題であり、市外からでも可茂地区へ来てほしいものです。
安江委員	加茂農林高校へはいろいろな地区から来てくれている。
日比野教育長	<p>のぞみ教室出身で加茂農林高校で頑張っている生徒もいます。</p> <p>それと、高校への進路先ばかりでなく、その後の大学などについても、我々の進路指導が間違っていないかということをチェックすることも必要ではないかと思います。高校へ進学しても不登校になっていないかとか。</p>

鹿野委員	小学校から私立の中学校に進学したというデータは無いですか。美濃加茂市立の小学校から私立の中学校へのデータですが、あれば見たいと思います。
日比野教育長	私もチェックはいると思います。各学校で把握はしています。
安江委員	伊深小学校の卒業式に行きましたが、私立中学校の制服を着て出席している児童がいましたので、私立中学校へ進学する子もいると思います。
鹿野委員	県外の中学校へも行く子がいます。
日比野教育長	それは把握しておく必要がありますね。傾向を5年ぐらい遡って調べていただきたい。 受験・進学、高等学校から大学などへ向かっていく数字というのは我々もはっきりと把握できてないのもあります。学習内容を知らなければいけないと思います。学校によって随分違います。公立も小・中学校でも高校でも同じことが言えるんですが、自分の学校の特色や頑張っている取組などはある程度伝えていく必要があると思うんです。だからF-Oの特色化予算で取り組んでおりますけれど、小規模特認校以外は学校は選ばませんが、PRしていく必要はあると思います。 ご提案をありがとうございます。出来れば遡って知りたいですね。よろしくお願いします。

## ○ 学校給食費について

可児事務局長	※学校給食費の改訂について資料に基づき説明。 ・美濃加茂市学校給食センター運営委員会からの答申（小学校10円、中学校15円の値上げ。時期は教育委員会へ一任。） ・今後の予定（6月議会補正予算上程、規則改正、2学期から適用） ・値上げの理由及び経緯 ・就学援助等による助成制度の改正
鹿野委員	資料に食材の比較が掲載されていますが、県下統一のものと、そうでないものが載っています。これらの他にも購入するわけですが、なぜこれらだけを表に挙げたのですか。
可児事務局長	表に挙げさせていただいたのは1年間の通年の分として見積もりにより金額が分かったものです。野菜などは金額が変動しますので、毎月

	<p>毎月見積もりを取って選定します。</p> <p>見積もりは多い場合は6社ほどから徴取します。そしてPTA役員にも委員として参加いただく学校給食センター運営委員会にて安くて良い食材を選んでいただいております。</p>
鹿野委員	特に地元を優先したりするわけですか。
可児事務局長	それはあります。できるだけ美濃加茂市や中濃地域のものを使用したい。値段との兼ね合いでやむなく外国産のものとなることもあります。
鹿野委員	前年度と比較して極端に値上がりするものもありますが、何か意味がありますか。
可児事務局長	1年間同じ値段というものは冷凍物が多いですが、ポテトチップを作る材料の芋が無いのと同様に、収穫したものを冷凍保存して翌年度に出荷するようなものが、収穫が少なくて冷凍保存の在庫も無いような場合は、入荷そのものが出来ないのです。
日比野教育長	<p>枝豆やいんげんは平成27年度と比較して倍近く上がっています。値が上がる時は早いですが、なかなか下がりません。</p> <p>学校給食センターのほうでもできる限りの努力はしておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>見通しとしては6月議会に諮る予定です。</p>
可児事務局長	<p>6月議会にてお諮りいただきます。</p> <p>また、就学援助費も増額するよう補正予算を要求しておりますが、財源が市単ですので、認めていただけるかどうか微妙な状況です。</p>
日比野教育長	学校給食も安いだけでなく美味しいものを食べさせて欲しいという意見もありますので、よく考えてくださっていてありがたいのですが、財源の確保が必要ですので、なかなか簡単ではありません。

## ○ 教育委員会行事予定等

古川学校教育課長	<p>※資料に基づいて5月、6月の行事予定を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 1日(月)： 校長会</li> <li>・5月 8日(月)： 教研全体部会(市郡合同)</li> <li>・6月 1日(木)： 校長会</li> <li>・6月10日(土)： 地区中体連陸上競技大会</li> <li>・6月17日(土)： 少年の主張美濃加茂大会</li> </ul>
----------	--

安江委員	学校訪問は6月頃に予定されていますか。
古川学校教育課長	教育委員さん方による学校訪問につきましては、近々日程の調整をお願いさせていただきますが、5月の終わりから6月にかけて予定をさせていただきますと思います。お忙しい中ですがよろしくお願いいたします。
安江委員	6月の教育委員会の定例会は、例年、学校訪問の中で開催していましたが。
可児事務局長	学校の部屋をお借りできるかにもよりますが、日にちだけは同じ日に合せた方が良いかと思います。学校訪問の日程が決まりましたら定例会を合わせるということにさせていただきます。
日比野教育長	可茂教育事務所の訪問はどうでしたか。
古川学校教育課長	今年度は、可茂教育事務所による訪問は秋に行われる予定です。昨年度は春の訪問でしたので、日程が窮屈でしたが。
日比野教育長	5月の教育委員会定例会議は5月26日でしたね。総合教育会議がその日の午後1時半からで、教育委員会は午後3時10分からですね。
可児事務局長	はい。市長に午後4時から予定が入っているということで、総合教育会議を先に開催し、定例の教育委員会はその後となります。会場はここ第1会議室で行います。

## ○ 教育センター事業報告

山内教育センター次長	<p>私、今回初めてこの会議に出席させていただきましたので、よろしくお願いいたします。事業につきましては先ほどの「美濃加茂市の教育」に記載のとおりですので、補足としまして口頭で申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月13日 最初の研修事業（相談員研修）実施</li> <li>・ 4月25日 ハイパーQU初任者研修</li> <li>・ あじさい教室 始めの会を4月13日に開催。出席した児童生徒9名。</li> </ul>
日比野教育長	<p>今の報告についてご質問がありましたらお願いします。 先ほど9名ということですが、うち2名が小学生ということですよ。</p>

の2名は小規模特認校制度を利用して学校が替われば通学できそうな雰囲気があればですけれども、学校が替われば通えるという子はいると思いますので、ご家族がご了承くだされば、特認校へ行ってもらえば良いと本当に思います。

山内教育センター次  
長

あじさい教室に来ている中学生の中には、修学旅行に参加したいということで、まずあじさい教室に来て、次は学校の保健室から相談室というように順番に考えていて、目標を持つということが大事だと思います。

日比野教育長

不登校の子が昨年度増えましたので心配をしていますが、いろいろな方法を考えて支援をしてあげてください。

委員の皆さまからのご質問はよろしいですか。

それでは、協議・報告事項は以上で終わりにいたします。

## (6) その他

日比野教育長

次のその他に入ります。何かありましたらお願いします。

可児事務局長

特にはございません。

日比野教育長

それでは、次回の定例会は先ほど申しましたように、5月26日(金)の午後3時10分からですが、先に総合教育会議を予定しておりますのでよろしく願いいたします。

年度始めということで長時間にわたり慎重にご協議いただきありがとうございました。

これで4月の定例会議を終了いたします。

閉会 午後4時10分